

これからのブロック大会の在り方

平成24年度 ブロック大会

北海道ブロック帯広大会	722名	
北陸信越ブロック茅野大会	759名	
東北ブロック大会横手大会	1001名	
東海ブロック春日井大会	1341名	
九州ブロック大会大村ステージ	1559名	
四国ブロック高松大会	583名	
近畿ブロック大会若狭小浜大会	1280名	
中国ブロック竹原大会	1221名	
関東ブロックいばらき石岡大会	1635名	合計 10101名

決して、ブロックごとに登録数を競っているわけではありません。ここに記されている数字には、ご当地の設営スタッフの熱意ある行動が地元メンバーの共感を呼び、数字に反映されているものです。

ブロック大会は単なるイベント事ではありません。YEGは、イベント請負業者でもありません。ブロック大会を主管することは、対内的には自単会の組織の意識の向上を、対外的には、地元の所轄関係の行政、市議会、地域で関係する各種団体に対して、YEGの絶好のアピールになります。そして、ブロック大会の成功は大会の開催だけでなく、その先にあると考えます。着地地点は、「若手メンバーの成長」「単会意識レベルの向上」「自身の間としての成長」等、様々だと思えます。

今後、特にブロック大会主管単会で牽引役となる方々には、大会自体は一つの通過点として考えて頂き、その先にある着地地点を見据えて頂きたいと考えます。

また、ブロック内での交流と研鑽と共に、今後はブロックの垣根を越えた交流なども期待できます。お互いに、開催内容等について意見交換を行うことにより、更なる展開が期待できます。

日本YEGは、主催ブロック・主管地の皆さまのサポートをさせていただきます。すべてに関わることはできませんが、ブロック担当者と二人三脚で、大会を成功へと導きだすことが出来ます。

ブロック大会は、『きづき』と『きっかけ作り』の場であり、『YEGが地域の中で必要とされる団体として認めて頂けるチャンス』の場でもあり、さらには『地域を超えた交流の可能性を秘めた』場でもあります。

これが、これからのブロック大会の在り方であると考えます。